

話す力

トレーニング

立場を明らかにして話す力

放送文

- ・電話がいか手紙がいか
- ・優先席は必要か

27

今回の学習は『自分の立場を明らかにして、その根拠をもとに話す力』をつける学習です。

相手にわかりやすく物事を伝えようとするとき、私たちはいろいろな工夫をして話します。特に、話し合いや討論の場面では、自分がどういう意見を持ち、どう考えているのかをはっきり述べる工夫が必要になってきます。たとえば「今度の球技大会で、バスケットボールをするかドッジボールをするか」という話し合いの場面では、自分はどちらがいいと考えているのか、またそれはなぜなのかをきちんと話す必要があります。また、そんな場面では、だが、どんな根拠をもとに、どんな立場から発言しているのかをしつかりと聞き分けながら話し合いに参加することも大切です。それでは練習を始めましょう。

28

例

「相手に正確に気持ちを伝えるには、電話がいいか、手紙がいいか」について、あなたの意見を述べなさい。

では解答です。一例を聞いてみましょう。

私は、相手に正確に気持ちを伝えられるのは手紙だと考えます。なぜなら、手紙だと伝えたい気持ちを文字にして、それを何度も読み返して、より正確なものへと練り直すことができるからです。

どうですか。まず自分の立場を先に述べ、そして、その理由を述べていました。場合によっては、「私はどちらがいいか迷っています。」というような立場を明らかにして話すこともあるでしょう。

それでは、問題に取り組みしましょう。

30

問題

「お年寄りや体の不自由な人のための優先席は、電車やバスの中に必要か」というテーマで話し合いをしています。二人の発言のあとに続いて、どちらの人の意見に賛成なのか、自分の立場を先に述べてから、その理由を説明しなさい。

(一人目) 私は、優先席は必要だと考えます。なぜなら、その席はお年寄りや体の不自由な人たちを優先させる席なのだから、「私は座らないでおこう」という気持ちをみんなに持ってもらえるからです。最近、相手のことを思わない自分勝手な人が増えているように思うので、なおさらです。

(二人目) 私は、反対です。なぜなら私は、すべての席が優先席であるはずだと思うからです。もし、お年寄りがつらそうに立っていて、自分が席に座っていたなら、私はその席が優先席であろうがなかるうが、そのお年寄りに席をゆずりたいと思います。「向こうに優先席があるからあちらへ行ったらどうですか」というようなことになってしまつてはとても残念です。

では解答です。一例を聞いてみましょう。

私は、最初に述べた人のように、優先席は必要だと考えます。その理由は、最初に述べた人とは少し違います。私がそう考える理由は、もしお年寄りや体の不自由な人の立場に立てば、そういう席を、電車やバスを走らせる会社の人たちが考えて設置してくれていることをとてもうれしく感じるのではないかと思います。みんながそつという人を支えるためにアイデアを出し合ってくれているのだということが伝わってくるからです。

31

これで練習を終わります。

29

話す力

トレーニング

立場を明らかにして話す力

ワークシート

名前

組 番

例 立場を明らかにする

メモ

【気持ちを伝えるには、電話か、手紙か】

問題 二人の発言に続いて

メモ

【優先席は、電車やバスの中に必要か】
一人目

二人目

私は

その理由は…

に賛成。